Smile Pleasure Communication

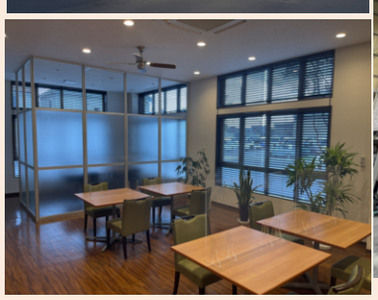
Vol.31
2021年9月号
-人事・経理課発行-

【今月の誕生日：18名】
本社・営業：4名
国府工場：3名
西長峰工場：9名
福岡ポリ：2名

三信包装株式会社が船場化成グループに参画しました。

2021年8月28日付で三信包装株式会社（本社：青森県八戸市）と船場化成グループは資本提携をいたしました。

同社は当社同様、ポリエチレン製造の一貫加工メーカーです。また、ポリエチレン製造だけでなく、ラミネート製品、各種包装資材販売も手掛けており、幅広い提案力があり、大手食品加工会社とも取引があります。



代表取締役社長
石井浩太郎氏

船場化成としましても念願の東北地方に製造拠点ができました。相互にシナジー効果が発揮できるよう各部署協力していきましょう。

実習生ありがとう

ベトナム人実習生で4年近く働いていた2期生1名がこの度、帰国する事になりました。当社から、餞別のお米をお渡ししししました。帰国しても頑張って下さい。お元気で！

西長峰工場見学

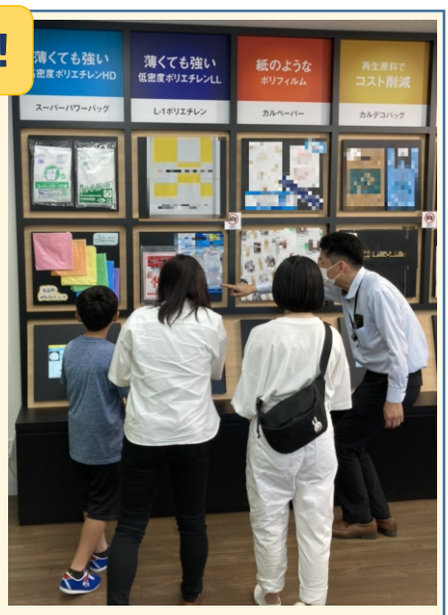
高校生の工場見学も実施しました。無事、今年も応募がありました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

鈴木取締役が徳島新聞の経済欄に掲載されました！

船場化成（徳島市）鈴木康弘取締役営業部長兼東京営業所長「（海中で生分解される買い物袋をカネカと共同で商品化）今後少しずつ切り替わっていくと期待している。ぜひ県内の量販店や自治体に採用してもらい、徳島から全国、世界へと発信していきたい」

神野課長の神対応！自由研究に協力！

2021年8月10日、徳島新聞に掲載されました、『カネカ生分解性ポリマーを100%使用したフィルム』に関する記事を読んで徳島県の小学3年生が自由研究で当社のモノづくりについて研究をしたいとのことで、お母さんと中学生のお姉さん3名で来社しました。徳島営業課の神野課長が神対応し、当社のことをしっかりと理解していただきました。



8月23日　№2995
2021年(令和3年)
週刊　月曜発行
発行人　河村 勝志
昭和41年9月22日　第3種郵便物承認

包装タイムス
THE HOSO TIMES

船場化成

「炭素排出量ゼロ企業」を宣言

実質CO_2フリー化など提案

船場化成（徳島市、☎088・642・1414）は、2040年までに「炭素排出量ゼロ企業」を目指すことを明らかにし社内外に向けて宣言した。太陽光発電設備の設置やバイオ・生分解原料の活用、脱炭素につながる新型フィルム開発などに取り組む。インフレーションフィルム製造を行う企業のこうした取り組みが今後、軟包材や他の包装資材製造企業へと広がり、具体化されるものと注目されている。

西長峰工場は年間156万kWの太陽光発電を予定

同社は1955年（昭和30年）に創業。最大幅2650㍉仕様のLLDPEフィルムに加え、HDPEフィルムも国内最大級2650㍉幅の機械を稼働させ、小型、中型規模のインフレ機、12色グラビア印刷機や高速CI型フレキソ印刷機を設置。経営理念に「私たちは従業員・お客様にとって『魅力ある企業』を目指します」を掲げ、地球環境の保護・地域社会の発展貢献に取り組んでいる。2020年に「第9回四国でいちばん大切にしたい会社大賞」（四国地域イノベーション創出協議会主催）を受賞するなど、有力企業として広く知られている。

「船場化成グループ」として今年6月15日、2040年までに「炭素排出量ゼロ企業」を目指すことを宣言。大きく六つの取り組み項目を掲げ、達成に向け事業活動の推進を開始した。

一つには、発電設備など再生利用可能エネルギーを利用し、製造工程でのCO_2フリー化を目指す。西長峰工場（徳島県阿波市）では今年2月、工場の屋根全面に約5千枚のパネルを設置し年間156万㌔㍗の太陽光発電を予定。工場全体の電力使用量の削減と年間約50万㌧のCO_2削減量を見込んでいる。

また、工場から出る廃材再利用に取り組みリサイクル率100％を目指すとともに、全ての製品をバイオ原料・生分解原料に置き換え、製品での実質CO_2フリー化を提案。輸送・配送・営業車を全てEV車に切り替え排気ガスゼロを具体化させる一方で、「公益財団法人国際緑化推進センター」と協力し植林活動に着手。長年培ったインフレーション技術で脱炭素実現の「次世代フィルム」開発を推進する考えだ。

同社では、「今後も環境に配慮した工場運営、製品開発に取り組み、持続可能な開発目標（SDGs）達成に貢献していきたい」としている。

2021年8月23日の包装タイムスに掲載されました！